

## 使用済みボタン電池回収（家庭系ごみ）

### 背景

2013（平成25）年10月の国連環境計画（UNEP）による外交会議「水銀に関する水俣条約外交会議」が熊本県で開催され、水銀の輸出入、水銀含有製品の製造等を規制する最終議定書が全会一致されました。水銀および水銀を使用した製品によって起こる環境汚染の防止や、人の健康保護を目的とした国際条約です。条約名の由来は、世界で最も深刻な水銀被害である水俣病の悲劇を繰り返さないという気持ちを込めて、日本が提案したのになります。水銀や水銀を含む製品の製造や輸出入を2020（令和2）年末までに原則禁止とする内容です。

日本においても法律等の整備が行われています。

一般社団法人電池工業会では、一部のボタン電池に微量ながら水銀が使用されているため、環境保全の自主的な取組として、補聴器店、電器店、ホームセンター等の回収協力店を通じた使用済みボタン電池の回収、適正処理を進めておられます。豊前市は、この取組を推進しています。（電池工業会の取組は「ボタン電池回収サイト」をご覧ください。）

### ボタン電池について

#### ボタン電池の種類

ボタン電池は、腕時計、補聴器、電子体温計、小型のおもちゃなどの電源として使用されており、以下の種類があります。

- ・酸化銀電池（型番「SR」）… 腕時計などに使用されています。
- ・空気電池（型番「PR」）… 補聴器などに使用されています。
- ・アルカリボタン電池（型番「LR」）… 電子体温計、小型のおもちゃなどに使用されています。



### <電池工業会 ボタン電池回収サイトより>

ボタン電池と形が似ている『コイン電池（型番「CR」「BR」）』については、水銀は使用されていません。コイン電池は、電池工業会の回収対象外です。廃棄方法は、お住まいの市町村にお問い合わせください。（※ボタン電池は、少し厚みがあり、12mm以下の大きさです。コイン電池は、平たく硬貨ほどの大きさで、水銀は使用されていません）

## 水銀ゼロ使用のボタン電池

水銀が使用されていない「水銀ゼロ使用」のボタン電池の販売も増えてきています。製品のパッケージや製品自体に「水銀ゼロ使用」や「Hg 0%」などが表示されていますので、購入や廃棄の際の参考にしてください。



<「水銀ゼロ使用」のボタン電池>